



Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility

小嶋祥三教授講演会

“慶應義塾で学んだこと”

私は2003年4月から2009年3月まで慶應義塾に在籍し教育、研究を行いました。また、退職後も今年の3月までグローバルCOEのお手伝いをさせていただいております。この間、教員や学生の皆さんから多くのことを学ぶことができました。グローバルCOEが終了するにあたり、慶應義塾で学んだことを話す機会をいただき感謝しております。

講演の内容は教育や研究を通して考えた認知神経科学的な心のモデルについてです。このモデルはワーキング・メモリのモデルを発展させたものですが、感覚・知覚、運動・行為、長期記憶、情動・動機づけ、認知制御の5つの系から成り立っています。それぞれの系はこれまでの研究を踏まえつつも、自分が興味をもった点を強調しています。その意味では、「私のモデル」で、客観的、公平なものではありません。また、自分の専門外の領域（といっても、自分の専門が何かよく分かりません）が多いので、それぞれの領域の専門家から見ると不十分な点も多いと思います。それは仕方がないことと鉄面皮で通すつもりですが、お許し願います。

ご意見をいただき、さらに良いモデルにしたいと思っております。

日時：2012年3月1日(木) 15:00 17:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス

大学院校舎 312 教室

Date and Time: Thursday, 1st March, 2012: 15:00 - 17:00

Venue: 312 Classroom, Graduate School Building,
Mita Campus, Keio University

会費無料、事前登録は不要

主催・企画：慶應義塾大学グローバルCOEプログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点」
脳と進化班

<http://www.carls.keio.ac.jp/> E-Mail : keiocarls@info.keio.ac.jp